



劍脚戰姫

闇を祓う艶脚
アキカ

RANDOM PRESENTS

蘭田夢

【第7話】

**剣脚戦姫アヤカ～闇を祓う艶脚～
【第7話】**

蘭田夢

©RANDOM



この部屋が
最奥：

もう部屋のほとんどが
魔界化してる

あれは…繭？

ものすごい魔力反応…
いったい何があるの…？

ようやく来たか

あなたが：
魔物たちの主ですか

そうだ彼らを造った
のは私だよ

てごお
手強かったらろう？

おかげで魔力も高められている
ようでは何よりだ

これでおまえの
魔力を奪えば
私の計画は完成する

そんなこと
させません！

そして…

セレナさんを

返して
もらいます



いい魔力だな
だがいいのかな？

あ…アヤカ…

この娘を
助けに来たのだろう？

セレナさん!!

私を攻撃すれば
この娘がどうなるのか
わかるだろ?

あ...ぐ...
ごめんなさい...


アヤカ...

この...
卑怯者...!

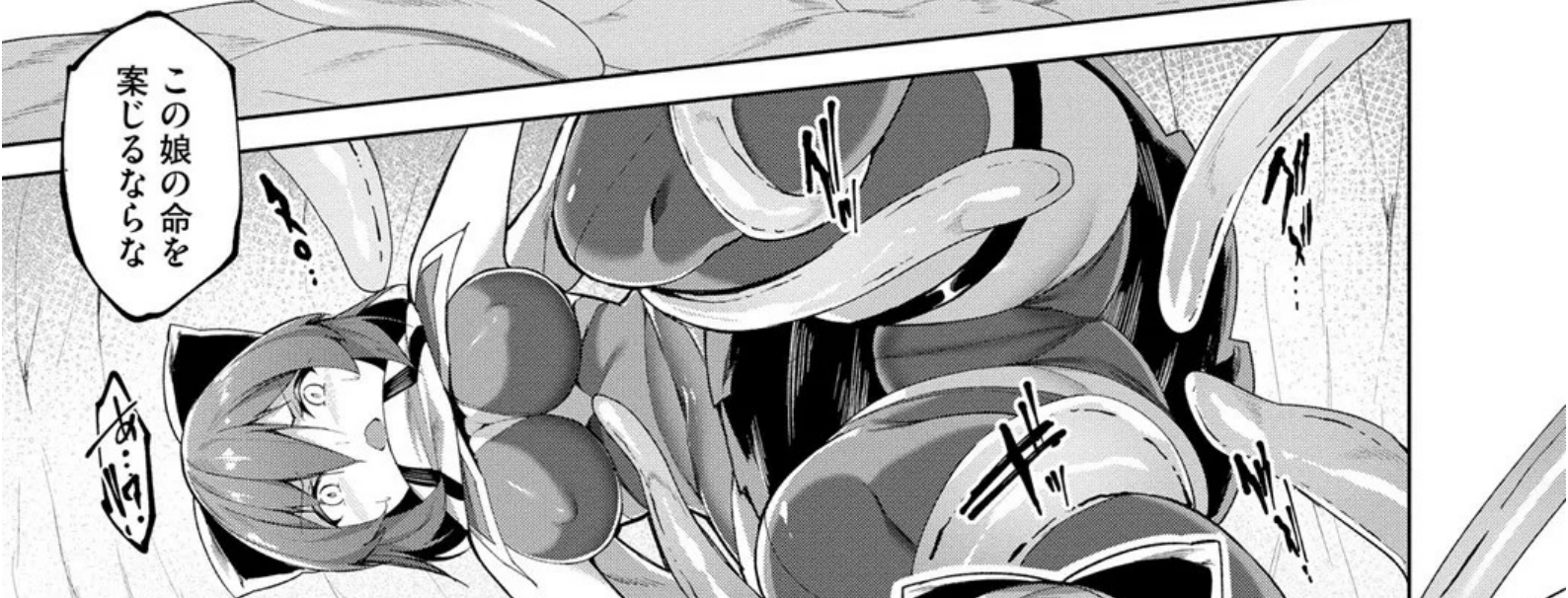
当たり前だ

計画のため
だからな






おとなしくその身を
差し出すことだ



この娘の命を
案じるならな



まずは戦姫の
武器から

奪わせて
もらおうか



私は
負けませません……!!

どんなに
奪われても……

なにせ魔力は多いに
越したことはない

ククク……
それは楽しみだ……





足の裏から...
魔力が...っ



魔力を
奪ってくるっ

この触手...いまままでと
比べものにならない
くらい...



どうだ？
おまえの足裏から奪うため
だけに造った触手だ

ハハ…アハハハハ

イテテテテ

ハハハハハ

足指の間はまだ
入ってくる…

足の裏
ヌメヌメに…

土踏まずに
ピッタリくっついて
まったく離れない…





んあ、足の裏が×ええ!!

足壊れちゃう…ッ



ダメ…もう…♡



イカされちやう♡



これで武器は
使えまい？

たとえ…足が
使えなくとも…

まだそんな目が
できるとはな…

ツツ





それでも私はッ!

負けませ

!?

え：挿れられた
だけで...



あ…♡この…程度…♡
負けない…♡

口ぶりの割には
締めつけているぞ？

乳首もこんなに
立たせておいて

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

あせめ

かわいらしい
反応だなアヤカ

おあ
ん

おあ
ん

突き立てられている
イチモツにいやがおうにも
感度が高まっているのдар？

いやッ！

負けない…

あなたなんかには負けないッ♡

口を慎め

あはあは
あはあは

あの娘の命は
おまえの言動にかかって
いるんだからな



どこまで…卑怯なっ

その卑怯なイチモツに
負けそうなのは誰だ？

ああ

ああ

まだ負けてな…ッ

だめ…♡
からだ
身体が♡

気持ちよくなってる♡

ああ
ああ
ああ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ





私はセレナさんを…ッ



だれが…
捧げるのですか…

さあその身を
捧げるがいい



え…?



ククク…
その娘を見てみる

私たちに犯された回数
数十を超えている

果たして正気に
戻れるかな？

セレナ……さん……





もういいだろう
受け入れてしまえ

それでも…私は…ッ



あー

あー

私は…!
剣脚戦姫…!!

ならばその信念ごと
奪い取ってやろう

あー
あー
あー



ピストンが強くなつてく…
奥から魔力が奪われてる♡

だめ…気持ちSSO♡







素晴らしい魔力だ！

素晴らしい！



私は世界の神となる！

魔王の力を我が物とし

さあ魔王の復活だ！



黙れ

人が気持ちよく
眠っているところを
邪魔しておって…



200年ぶりに起きてみれば
くだらない妄言を
吐きおって

まったく最低の
目覚めじゃな

これが…魔王……？

いかにも

魔王

リース・フォン・デビスである

お主らは剣脚戦戦姫
と言ったか？

うまそうな
娘どもじゃなあ

この世界を
征服する前に

少し遊んでやると
するかのう



to be
continued...